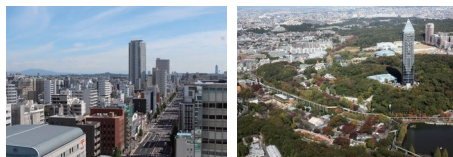




千種区は どんなまち？



千種区西側(今池付近) 千種区東側(東山付近)

1 千種区の特徴

名古屋市の東側に位置する千種区は、熱田台地と東部丘陵によって地盤が形成されています。名古屋市西部の沖積層と比較して、長い年月をかけて強固な地盤が形成されていると考えられています。しかしながら、災害に対して心配がいらぬというわけではありません。千種区では西側で液状化の可能性が高く、東側で土砂災害(特別)警戒区域が多いといった特徴がみられます。また、矢田川・香流川付近では、大雨による洪水被害が発生する可能性があります。

地形的特徴を理解し、日ごろからしっかりと備えておきましょう。

！ ため池がいっぱい？

丘陵地が長い時間をかけて浸食された「谷戸」と呼ばれる地形がみられます。

谷あいの土地では、水が集まるため江戸時代には農業用水の確保を目的として、灌漑用のため池が作られ、そこから用水を引き農業が営まれました。谷あいの土地で過去にため池があった場所は、窪んだ地形であるために水が溜まりやすいと考えられています。

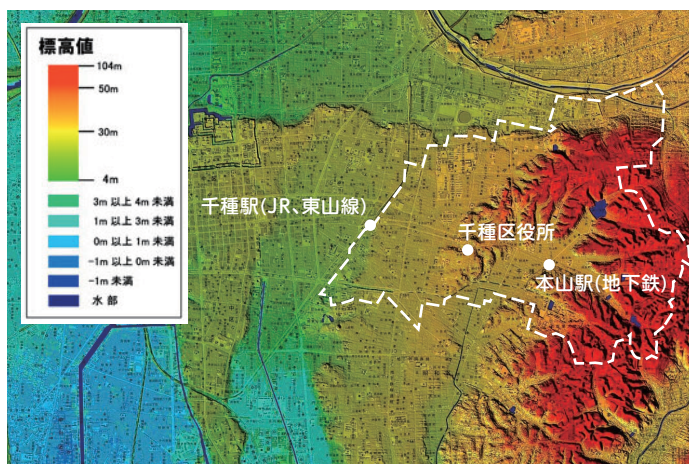
また、三方向が山に囲まれている場所は平地であっても排水不良で一時的に雨水がたまることがあり注意が必要です。

一方で、平地に作られたため池も多くありました。大地震の際には、臨海部の埋立地ほどではないにしろ、噴砂や液状化現象の被害があることも想定しなくてはなりません。



猫ヶ洞池

千種区のデジタル標高地形図



出典:国土地理院のデジタル標高地形図に加筆

千種区は東側に向かって標高が高くなっていることデジタル標高図からもわかります。

また、標高が高くなっていることから傾斜地も多く存在しております。千種区内においては、58箇所の土砂災害(特別)警戒区域があるため、集中的に大量の雨が降った場合や、梅雨の時期など弱い雨が降り続く場合は、天気予報や気象庁及び名古屋市からの情報に注意し、土砂災害を含む災害に警戒しましょう。

2 千種区の災害リスクと過去の災害被害



【地震】

近年、名古屋市内及び千種区において大きな被害がでる地震は幸い起こっておりません。しかし、過去の地震を参考にして南海トラフ巨大地震に関して、被害を想定すると、千種区内では、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの震度では一部地域は6強と想定され大きな被害が見込まれます。

また、千種区西部を中心として、液状化の可能性もあります。

明治24年濃尾地震記録

濃尾地震は、明治24年(1891年)10月28日に発生した内陸直下型の地震で、マグニチュードは8.4で、内陸直下型の地震としては国内最大級の地震です。震源は現在の岐阜県本巣市付近の根尾谷断層付近で、岐阜県、愛知県を中心に7,000名あまりの死者が発生し、建物の全壊は140,000棟に上りました。

過去の災害被害から
学び、今後の対策に
生かすことも重要ね!



千種区における過去の被害状況

溜池の破壊甚だかりしは、田代村の猫ヶ洞にして、耕地数十町及び隣村附近を侵害し、人家一棟を流潰し、至る所實に惨憺たる情況を呈せり。(愛知郡誌)

田代村の猫ヶ洞の堤防が崩壊して、一時、人家耕地数10haに浸水し、田代村では人家1むね流失した。(名古屋市における既往の地震とその災害 昭和49年)

	人的被害		住家被害
	死者	負傷者	全壊(戸数)
愛知県	2,459	6,736	34,494
名古屋市(当時)	190	499	1,261
千種村(愛知郡)	0	1	8



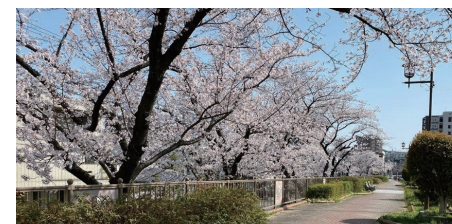
【風水害】

矢田川・香流川付近では、浸水被害が発生するほか、尾張東部の山間地(上流)で大雨が降り続くと、一定の時間経過後、激しい水流で川岸が削られ、地盤ごと家屋が倒壊する恐れのある区域(=家屋倒壊等氾濫想定区域)があります。ハザードマップで確認しましょう。

台風が近づいている場合、長時間雨が降り続く場合もしくは、豪雨の場合などには、気象情報や避難情報を確認しすぐに避難行動をとれるようにしましょう。

昭和34年伊勢湾台風記録

伊勢湾台風は、昭和34年(1959年)9月26日に伊勢湾周辺地域を襲い、上陸時の中心気圧は929.5hPa、最大瞬間風速は45.7m/秒を記録した、観測史上第三位の台風です。台風による被害としては、愛知県、岐阜県を中心に、明治以降最多となる5,000名あまりの死者・行方不明者が発生し、建物の全壊は36,000棟に上りました。



横堤(千代田橋2丁目)

千種区における過去の被害状況

丘陵地であるがゆえに、強い南風の影響が大きく菊坂町、丘上町などの南斜面で、風圧による家屋倒壊が見られたという記録が残っております。

このほか、河川の増水や排水不良の影響により、汁谷付近、末盛通付近など、丘陵地に降った雨水が集まる場所での浸水被害が記録されております。

	人的被害	住家被害		浸水被害	
	死者・行方不明者	全壊(戸数)	半壊(戸数)	床上(戸数)	床下(戸数)
愛知県	3,260	23,334	97,049	53,560	62,831
名古屋市	1,851	6,166	43,249	34,883	32,469
千種区	5	171	689	32	808

3 防災訓練に参加しましょう！

毎年千種区役所では、総合水防訓練(5月)、総合防災訓練(9月)を行っております。また、これ以外にも学区や自治会が開催する防災訓練及び防災講話等に出張することもあります。実際にお住まいの地域での防災活動に参加してみましょう。